

安心の基本素材

「耐熱ガラス」。



100%天然の鉱物を精製した、地球にやさしい素材の「耐熱ガラス」。熱に強く、酸にも強く、電子レンジで使える特性がある優れたガラスです。素材の安全性を向上させるため「ハリオの耐熱ガラス」は、製造過程で発生する泡を残さないようにするための、泡きり剤も100%「天然塩」を使用しております。ハリオは安心・安全素材であるガラス「耐熱ガラス」を生かしたモノづくりを続けてまいります。

煙突のない工場。

ハリオの耐熱ガラスは1972年以來「煙突のない工場」で生産しています。「煙突のない工場」の実現は、ガラス原料を重油でなく電気によって溶かす、独自の技術開発の成功によるものでした。ガラス工場といえば煙りと粉塵の害がひどいといった常識を変え、工場隣接の環境を乱すことなく、また中で働く社員に対しても配慮した職場環境を生み出しました。

無公害原料。

耐熱ガラスは100%天然の鉱物を精製したものを原料とした、地球にやさしい素材です。ハリオの耐熱ガラスは、さらに、製品に泡が残らないようにするための「泡きり剤」も100%「天然塩」を使用し、亜ヒ酸やアンチモンといった重金属を一切使用していません。また、ガラスと組み合わせるプラスチック素材についても、電子レンジで加熱をしても環境ホルモンの出ない素材を使用しています。さらに、ガラスにプリントする白のインクは無鉛インクを使用することとなりました。疑わしきものは使用せず。安心・安全が原点です。

もったいない

「MOTTAINAI」主義は40年以上前から。

日本の美德をあらわした言葉「もったいない」。ケニアの副環境相ワンガリ・マータイ氏は、この言葉に感銘を受け2005年3月国連女性地位委員会で出席者全員で「もったいない」を唱え話題となりました。

ハリオではこの「もったいない」の思想は40年以上前から唱えています。サイフォンやハリオール等「ガラスボールが割れた」「茶こしがよごれた」場合にパーツを交換して使うシステムです。「直して、生かし、長く使う」当たり前のことを、当たり前。パーツ交換システムはこれからも続けてまいります。

安心・安全・環境保全の目印です。

GLASS  cology



医学や理化学の分野で安全性が高く評価されている耐熱ガラスを主体に使い、電子レンジで加熱をしても環境ホルモンの出ない、不安が残る素材は一切使わない製品を皆様にお届けします。この表示は保存容器類に添付・表記しています。



大切な資源を守るために、ハリオは脱・使い捨て容器を推進し、「水出し茶ポット」や「水出し珈琲ポット」にこのマークを表記しています。



(社) 日本硝子製品工業会が「耐熱ガラス」であることを認証した「耐熱認証シール」を、ハリオが保証する耐熱ガラス製品に添付しています。



耐熱ガラスポットで直火使用の際、10万回に一回程の頻度で、湯が突然沸きあがる「突沸現象」が報告されています。ハリオでは長年にわたってこの突沸現象回避に取り組んでまいりましたが未だに100%の回避ができていません。ハリオグラスでは2007年2月を目処として「100%突沸回避のため火にかけないでください」のメッセージを本体に表示し、直火使用を中止していただく案内をしてまいります。